



戸山幼稚園
2025年
2月26日発行

2月に入りやっと冷え込んできたかと思っておりましたが、日によってはぽかぽかとした陽気を味わう日もあり、あっという間に春の訪れを感じるようです。

月日の流れは本当に早いもので、お渡しする園だよりも今年度最後となりました。生活発表会を終えると、段々と卒園や進級への意識を強め始めた子どもたちです。ゆりさんの部屋からは卒園ソングが流れ出し、部屋へと続く階段の踊り場には園生活を振り返ったメッセージなどが飾られ、いよいよ卒園製作にも取り組み始めました！さくら・ちゅうりっぷさんは、そんなゆりさんに憧れの思いが一層強くなったようで、一緒にドロケイに参加したり、工作や折り紙を教してもらったりしながら仲を深めています。また、幼稚園中の様々なお仕事を担っていたゆりさんからさくらさんへの引継ぎも順々に行われ、背筋を伸ばし始めたさくらさんの姿が目立ちます ✨ どの子もそれぞれの成長を存分に見せてくれる姿があり、身も心も大きくなったなあ〜と感慨深くなります。

春の温かさを感じ始めると共に、少し寂しさも味わう時期となりますが、卒園や進級に向け、職員も子どもたちとの毎日を大切に過ごしてまいります！

生活発表会

2月は仲良しグループでの時間を多く取り、子どもたちの関係性を深めながら『生活発表会』に向かって取り組んできました！各グループの手作りのストーリーや表現はいかがでしたでしょうか？生活発表会はずっとずっと、戸山幼稚園の仲良しグループにおいて大切にしている行事です。異年齢で過ごしながら、クラス活動では味わえない他児の個性を感じ、吸収し、共に過ごす面白さと喜びを感じてきた子どもたちだからこそ創り上げることの出来る“創作劇”。みんな遊びながらお話へと繋がっていく過程を、今年は保育参観にてご覧になっていただきました。やはり長年、戸山幼稚園の保育を見守って下さっているお母様方たちの着眼点って凄まじいですね！感想の中に「年少のファンタジーの世界ばかりだと年長が飽き、年長の展開の複雑さだと年少は付いていけない」という担任たちの苦悩や葛藤に気付いて下さっている方がいて、脱帽いたしました。そのバランスを取りながら、日々の遊びを楽しく持続していく難しさに直面するのは毎年のことですが、子どもたちの中にある想像力、発想力、好奇心を引き出せるように取り組み続けると…こちらが予想できない子ども同士の化学反応が見られ、その力でどんどん面白くなっていきます。

3学期に入ってから、各グループで盛り上がり始めた遊びを劇にするまで、こういった表現に整理したら負担なく異年齢で取り組めるのか…明日はどんなアイデアが子どもたちから飛び出すのか、担任たちはヒヤヒヤするものなのですが 😊 そんな過程を客観視しながら味わわせてもらった主任からすると、正解の無い中で子どもたちの姿を捉え、その力を信じてきた保育者と、その苦勞を知ってか知らずか豊か過ぎるアイデアを出しては話を膨らませてくれる子どもたちで盛り上がっていく様子は、やはり日々の保育の積み重ね故だなあと感じます。1年間の締めくくりとして、自己実現のために主体的にアイデアや意見を出せるようになっていくそれぞれの子どもたちの成長があるからこそ、個性溢れる役や出番が作られているのです。そんなオリジナルの温かさは、鑑賞いただいた皆様が届いていることでしょう。

また、ゆりさんの保護者様は感想発表にご協力いただきありがとうございました！そして感想をご記入いただいた皆様もありがとうございました！戸山幼稚園で大切にしてきた異年齢での関わりのお大きさに共感いただき、どの子の成長も共に喜んでくださる空気がホール中に溢れていたことを嬉しく思います。そして何より、保育者が目指している“主体的な子どもたちに育ってほしい”という願いにご理解いただけていますことを実感し、温かな言葉に感謝の思いが溢れるばかりでした。

戸山幼稚園の保育は、外の世界に伝えるのが難しいものです。目に見えない子どもたちの可能性を信じて伸ばしていくのは時間もかかります。ましてや成長のスピードは人それぞれ。今回も子どもたちによって緊張と喜びの差は大きく見受けられましたね。それぞれの感情を抱えて葛藤する姿はありましたが、それでも確かなのびしろを見出して、次の活動へ、来年へ、と願いをかけて保育に臨む保育者たちです。その形は子どもの数だけあり、いわゆる多様なものです。だからこそ集団生活が鮮やかになるのですよね。そんな多様な個性をこんなに理解し合える園の空気は、きっと他では味わえないだろうと感じます！そして何より、そんな空間に包まれた子どもたちはなんて幸せだろうと実感します。この戸山幼稚園で、子どもたちがありのままの自分を喜ぶことを大切にしたいと改めて感じる行事になりました。

大好きな ゆりさんへ♡

いよいよ、卒園や進級が迫っていることを実感し始めた子どもたち。年長さんは、様々な行事を終えて自信を付けた勢いを感じます。さくらさんちゅうりっぷさんに内緒でこっそり“卒園製作”を作りながら思い出を振り返っている様子は感慨深いものです。また、それを「ぜったい言わないでね！」と小さい子たちを喜ばせようとして製作している心意気を嬉しく思うばかりです。

そしてさくらさんのお部屋では、ゆりさんの卒園を知り「喜ぶことをなんでも叶えてあげよう！」と作戦を立てているようです。年少担任をしていると「ねえ、いっしょにごちそう作らない？」「ちゅうりっぷさんは歩ける？」なんて、一緒におつかいに行きサプライズパーティーをしようと思っ掛けてもらう機会が増え、その付近にゆりさんがいると段々と小さい声になっていくさくらさんが愛おしいです♡そしてちゅうりっぷさんは、あまりお別れにピンと来ない様子で「お家にいるから会いに来ていいよ！」と、ゆりさんの妹たちが得意顔 😊 それぞれの育ちの中で、喜びや寂しさを感じながら、進級や卒園を経験していく3月となります。子どもたちにはまだ秘密ですが、お別れパーティーの計画も進んでいますので、どうぞお楽しみにしててください ✨



最後に、今年度も戸山幼稚園の保育にご理解ご協力いただきありがとうございました！どの子も、集団の中でいろんな刺激を受け、自分の個性の幅を存分に広げてきましたね！（特にちゅうりっぷさんは、4月を思い返すとグンと大きくなりましたよね！）お母様方と常にその成長を喜び、共有させていただけたこと、心より感謝申し上げます。特にここ数ヶ月は、保育をご理解いただいているだけではなく、改めて父母の会の皆様と共に戸山幼稚園を愛していただき、守っていただいていることを強く実感して参りました。これもひとえに父母の会の皆様の温かさとお熱心さゆえに、その空気がしっかり繋がっているものと感じます。特にゆりぐみ保護者様はこれまでの働きに感謝申し上げます。次年度はまた新しい取り組みに臨んで参りますが、子どもたちのみならず保護者様にとりましても心地よい戸山幼稚園でいられるように努めてまいります。引き続き、温かなご支援をどうぞよろしくお願い致します。

また、卒園を迎えるゆりさんの未来にもエールを送ります！本当に頼もしく、大きくなってくれました！とっても寂しくなりますが、どうぞいつでも会いにいらしてください。みんなの活躍をずっとお祈りしております。

～今年度もありがとうございました！～